

修士論文(要旨)
2010 年 7 月

中国人学習者における日本語の漢字語彙学習の問題点及び指導上の留意点
—学習動機とストラテジーの2点を中心に—

指導 佐々木倫子 教授

国際学研究科
言語教育専攻
208J4001

伊 仁
巖 毅

目次

序章 研究の背景	1
第1章 先行研究	2
1.1 漢字と漢字語彙について	2
1.2 日本語の語彙体系と漢語・漢字	2
1.3 中国におけるアンケート調査	3
1.4 稿者の分類	7
第2章 調査概要	16
2.1 調査協力者	16
2.2 調査方法	17
第3章 調査結果と分析	19
3.1 アンケートの質問回答結果について	19
3.2 アンケートの作文分析	23
3.3 インタビューの質問項目別回答結果について	30
3.4 問題点についての質問	32
3.5 学習動機と学習方法についての質問	35
3.6 指導上の留意点についての質問	37
3.7 評価についての質問	38
3.8 インタビュー調査結果分析	40
第4章 考察	44
4.1 問題点の要因	44
4.1.1 母語の影響	44
4.1.1.2 中国語母語話者特有の問題点——無意識の「漢字」への過度な依存	45
4.1.1.3 母語による正の転移と負の転移	46
4.1.2 学習動機の要因	46
4.1.3 学習方法の要因	49
4.1.4 日本語学習全般の要因	52
4.1.5 中国の日本語教育環境に由来する要因	53
4.2 日本語指導者の指導上の留意点	54
第5章 結論	57
5.1 まとめにあたって	57
5.2 日本語指導者の指導上の留意点	59
5.3 問題解決に効果的な指導方法の提案および今後の課題	59

【参考文献】

【参考サイト】

1. 研究動機

漢字は日本語の語彙体系の根幹的な地位を占めている。日本語教育における漢字語彙教育が重要であることは言うまでもなく、これからの時代においても変わることがないと思われる。一般に中国人が外国語として日本語を学習する際、非漢字圏の学習者に比べかなり有利だと言われている。稿者も当初このような安易な動機で日本語学習を始めたが、来日後、包装用段ボールに書かれてある「天地無用」の文字の意味が分からず不可思議に思うことがあった。このような誤解を数多く経験し、また、これは私だけの問題でないことに気づいた。そして中国人学習者を対象とする日本語の漢字語彙教授法が確立されておらず、あまり研究されていないように思われたため、改善策を考える必要があると感じ本研究を始めた次第である。

2. 研究目的

中国人学習者の漢字語彙学習上の問題点を、学習者側の学習動機とストラテジーの2点を軸として学習実態から精査する。また、この問題が生じる要因を探ることを試みたい。それを本研究のメイン目的とする。同時に、以上の実態調査と問題要因分析から得た結果を考察し指導上の留意点を捻出、今後の指導上の効果的改善策として提言したい。

3. 調査概要(アンケート意識調査・作文テスト・インタビュー調査)

実施期間	2009年1月～2010年5月
調査協力者	国内の〇大学別科の(来日2年未満)A、B 2クラスのうち男子16名・女子19名、計35名の中国人留学生(その中の7人からインタビュー調査を実施)
アンケート質問項目	前4問は選択式、最後の1問は手書きの作文テスト。 (詳細は本稿資料編参照)
インタビュー質問項目	漢字語彙学習の問題点、学習動機、学習方法、評価、指導上の要望など、計5つの質問について半構造化方式で実施。(文字起こし資料は、本稿資料編参照)

4. 調査結果

中国人日本語学習者の漢字語彙学習上の問題点は、主に以下の5点であると考えられる。

- (1) 母語の影響。無意識のうちに漢字への過度な依存から誤ったインプット。
- (2) 学習動機の優劣。学習動機は常に変化するものであり、教師側の適宜指導が必要である。
- (3) 独自の学習方法の有無。上達レベルによって、独自の学習方法の有無が分岐点となる。
- (4) 日本語学習全般の要因。日本語に対する正しい認識は、授受双方とも必要である。
- (5) 中国の日本語教育環境に起因する諸問題。

5. まとめと今後の課題

- (1) 中国人学習者を対象とする日本語の漢字語彙指導法の見直し。
- (2) 中国人学習者を対象とする教授法の確立及び関連する教材や参考書の開発。
- (3) 最新の教材、情報、リソースの入手。基本設備の充実。中国人日本語教師の資質向上、スキルアップなど中国の日本語教育環境改善について政府や学校側への提案。

【参考文献】

- 石田敏子(1994)『日本語教授法』大修館書店
- 大河内康憲(編)(1997)『日本語と中国語の対照研究論文集』くろしお出版
- 大島正二(2003)『漢字と中国人—文化史をよみとく—』岩波書店
- カッケンブッシュ知念寛子(2005)「文字の指導法」『講座・日本語教育学』第4巻
- 河住有希子(2005)「中国人学習者の漢字語彙使用に見られる問題点」『早稲田大学日本語教育研究』第7号
- 金子広幸(2008)「日中漢字音対照研究の成果と今後の教学応用への可能性の模索」基礎研究
その1 日中学院紀要『教学』2008
- 邱學瑾(2006)「外国語としての日本語漢字熟語の聞き取りに及ぼす第1言語の影響」『日本語教育学会秋季大会予稿集』
- 国際交流基金(1981)「語彙」『教師用日本語教育ハンドブック』⑤
- 国際交流基金(1988)「教授法入門」『教師用日本語教育ハンドブック』⑦
- 国際交流基金日本語国際センター(1998)『世界の日本語教育』
- 国際交流基金(2002)『日本語能力試験出題基準 改訂版』凡人社
- 国際交流研究所(大森和夫、弘子)編著(2002)『中国の1万2967人に聞きました。』「日中国交正常化30周年記念」アンケート調査<2001年10月～2002年1月31日>
- 笹原宏之(2006)『日本の漢字』岩波書店(新赤版)991
- 佐藤喜代治(編)(1977)『国語学研究事典』明治書院
- 左藤亨(2000)「日本語の語彙体系と漢語・漢字」『日本語学』特集テーマ別ファイル
- 白川静(2003)『常用字解』平凡社
- 白川静(2006)『漢字』岩波書店
- 白川静(2007)『桂東雑記』I～V平凡社
- 白戸順子(2008)『中国語母語話者の訓読み習得——形態・音韻・意味のトライアングル
3つの繋がりへの検証から——』桜美林大学大学院2008年修士論文
- 新村出(編)(2008)『広辞苑』第六版 岩波書店
- 高島俊男(2001)『漢字と日本人』文春新書
- 陳力衡(2002)「日中両国語における漢字の意味的相違について」『日本語教育論集世界の日本語教育』第12号
- 徳弘康代(2008)『日本語学習のためのよく使う順漢字2100』三省堂
- 戸田昌幸(2003)「現代中国語の声母に対応する日本語常用漢字音との対照分析」『麗澤大学論叢』第14巻 2003年2月
- 日本語教育学会(編)(2005)『新版日本語教育事典』大修館書店
- 文化庁(1983)『漢字音読語の日中対応』大蔵省印刷局

【参考サイト】

- <http://www.peoplechina.com.cn/>
- <http://homepage2.nifty.com/fuurinkazan/monasia-2.htm>
- <http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/usamiken/btsj.htm>